

大船渡発

南リアス線で避難訓練

大地震が発生し大津波警報が発令されたとの想定で、三陸鉄道南リアス線で避難訓練が行われました。臨時列車を使った訓練は震度6強の地震が発生、大津波警報が発令されたとの想定で行われました。運転士は非常用のハンゴをかけて、乗客役の社員を次々と地上に降ろしていきます。そしてトンネル内の線路上を徒歩で移動。乗客を誘導し一時避難場所を目指しました。訓練では警報発令から、「高台民家」への避難完了までにおよそ16分かかりました。三陸鉄道ではこうした形の訓練を今月中にあと2回行う予定です。(6/21)



釜石発

日本代表候補が被災地でボランティア活動

ラグビーの高校日本代表を選抜するため、日本屈指の高校生ラグーマンが釜石を訪れ被災した海岸でボランティア活動を行いました。釜石を訪れたのはラグビーの高校日本代表候補として選抜された選手たち72人です。全国各地から集結した日本屈指の選手たちが草刈りや清掃活動を行った根浜海岸は平成28年のいわて国体でトライアスロンの会場となる予定です。前日までは日本代表を目指し対抗試合でしのぎを削った選手たちですが試合の疲れをものともせず被災地のため汗を流していました。(6/23)



陸前高田発

北限のゆず研究会設立

陸前高田市で収穫される「ゆず」を「北限のゆず」としてブランド化していこうと、研究会が立ち上げられました。25日は陸前高田市役所で設立総会が開かれ構成団体である産直施設や社会福祉法人、それにサポーターとなる企業や市の代表が集まりました。すでに二戸市の酒造メーカーが去年9月から「ゆず酒」を販売しているほか、社会福祉法人の利用者が果汁を使ったシフォンケーキを作るなど、活用がスタートしています。研究会はゆずの木の植栽を進め、「北限のゆず」による地域の復興を進めたいとしています。(6/25)



宮古発

さんりく元気ラジオ



今週はみやこ災害FMの鈴木清恵さんが、出崎地区にある広域総合交流施設・シートピアなあとについて伝えてくれました。シートピアなあどは、観

光客や地元の人に親しまれてきた道の駅でもありますが、震災で半壊状態となりました。それがようやく7月6日(土)に2年4カ月ぶりにリニューアルオープンします。震災前と同様1階では、特産品、地元でとれた野菜、果物、穀類、花、加工食品や魚介類を販売しますし、2階では地元の旬の素材を使った料理を出すレストランも営業します。皆さんも宮古を訪れた際にはぜひシートピアなあどにいらして下さい、と話していました。(6/26)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIBC公式サイトから <http://www.ibt.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122